



交流会

交流会では楽しくいろんな話をしていますが、結局は大好きな写真の話に。また、席上、思い出の東川で入籍を果たした猪原夫妻のケーキ入刀が行われ、立木先生を始め、OB・OGたちなど参加者一同で祝福しました。



撮影ツアー

テラウチ先生も参加し、美瑛町の自然と旭山動物園へ撮影ツアーに行きました。当日はあいにくの雪が降りしきる天候でしたが、参加者は寒さを気にせず、ベストショットを求め思い思いにシャッターを切っていました。

同窓会・同窓展の思い出



写真セミナー①

＜講師 テラウチマサト氏＞
改善センターの大スクリーンでテラウチ先生の作品を鑑賞。先生の講演に一同真剣に聞き入っていました。



写真セミナー②

＜講師 立木義浩氏＞
文化ギャラリーにおいて立木先生を囲みながら撮影にまつわるエピソードなどを聞かせていただきました。



作品講評

参加者の要望により急遽、立木先生に講評をいただきました。参加者は、憧れの先生の講評に感銘を受け、さらなる創作への意欲をかきたてていました。



同窓展の準備

真剣なまなざしで、同窓展のために撮影した作品を展示するOB・OGたち



作品発表会

作品発表会では出展者が参加しているみんなの前で作品に対する思いを発表。その後、テラウチ先生による講評をいただきました。



「写真の町」情報館

INFORMATION

写真甲子園同窓生が思い出の東川に大集合 ～写真甲子園同窓会～

歴代の写真甲子園選手たちが思い出の東川に集まり同窓会(2/18)と同窓展(2/18～27)を開催し、思い出話やその後の活動、将来の夢を語り大いに盛り上がりました。

今回の同窓会と同窓展には写真家の立木義浩氏とテラウチマサト氏にご参加をいただき、写真セミナー、作品展の講評、更に、この会のために自身の写真展も開催していただきました。

また、OB・OGの同窓会・同窓展とあわせてテラウチ氏が編集するPHaTPHOTO(ファットフォト)の読者ツアーの方にも参加いただき、写真甲子園OB・OGとの交流も行なわれました。



写真甲子園2005参加選手の声
■ボランティアスタッフとして参加／
OG・青木陽子さん(第3・4回 1996・1997年本戦大会出場、福岡県立築上西高等学校)

皆さん、お元気ですか？大会期間中の現実離れた日々から日常に戻り、おつかあは毎日、愛娘と格闘中です。(たたいまオムツはすれの練習中)。10日間も北海道に行くことについて、許可してくれた主人と、娘を預ってくれた両親に、心から感謝しています。

毎年夏になると、「もう一度あの大会に係わりたくな」と、写真甲子園のことを思い出していました。高校を卒業して8年、やっと、OGボランティアスタッフに応募できる状況になりました。そして、決まったときは、とても嬉しかったです！「ちゃんとスタッフの手足になれるよう、頑張ろう！」と決意して、東川に行きました。しかし、思いは空回りするばかりで、失敗も沢山ありました(まだまだ、未熟者です...)。

自己嫌悪と周囲への申し訳ない気持ちでいっぱいでした。実際に手伝い、周囲の仕事振りを見て、「裏方というのは、こんなにも大変なのか」と、スタッフの方々の苦労を感じました。でも、私が手伝った部分、見た部分はほんの一部です。私が「苦労を感じた」と言っているのは、スタッフの方々へ失礼かも知れませんが...

今回、OGボランティアスタッフとして参加したことで、オフエスタ関連の方、役場の方、地元の方など、沢山の方々と話をすることが出来ました。選手のとときは全く違っ、様々な体験をさせてもらいました。サポーターとして、その他にも、色々な係わり方がもてるこの大会は、とても素晴らしい大会だと思います。

選手のとときは、「写真の楽しさ、面白さ、表現することの難しさ」を感じましたが、今回は加えて「好きだ、この大会...」



青木陽子さん(写真左)

ゲストの紹介



立木義浩(たつきよしひろ)
1937年徳島生まれ。
1958年東京写真短期大学(現・東京工芸大学)卒業
1969年フリーランスとなり、女性写真の分野で多くの作品を発表する一方、広告・雑誌・出版など幅広い分野で活動を展開中。

〔個展〕

1999年『東寺』『親と子の情景Ⅱ』／2001年『KOBE・ひと』／2002年『およう』『一滴の旅情(ハウステンボス)』／2003年『after the working-8×10』『桂林』『旅の途中で』／2004年『里山の肖像』『AFRICAN PARTY NIGHT』／2005年『火火』『ひと まち 笑顔 こうべ』『イッセー尾形 in GERMANY』

〔写真集〕

1999年『東寺』／2000年『世界ウイスキー紀行』／2001年『KOBE・ひと』／2002年『およう』／2003年『貴乃花道』／2004年『里山の肖像』『火火』



テラウチマサト
1954年富山生まれ。
1991年に写真家として独立。
その人に会ってみたいと思うポートレート作品やそこに行ってみてみたいと感じる風景作品で人気が高い。フォトカルチャーを提案する写真雑誌『PHaTPHOTO』編集長兼発行人でもある。日本写真家協会会員、日本顔学会会員。

1999年MIT(マサチューセッツ工科大学)のファインアート部門で記念講演。／99年、00年、03年、04年と新宿、立川の伊勢丹にて屋久島や宮古島を中心とした大規模な個展を開催。／2005年写真集『The Land Hope Resides』を出版。／今年8月、原宿クエストホールにて大がかりな写真展を開催予定。

そのほかの写真集として「拝啓、癒しの島にいます」他。